

「青少年旅行村いこいの森」改め

「奥会津ただみの森キャンプ場」が

リニューアルオープン！

新たなアウトドア拠点を整備



▲雄大な自然に囲まれた同キャンプ場、奥に見えるのが浅草岳

整備箇所一覧 (表1)

改修【8箇所】

案内看板(入口、施設内)、
管理棟、
オートキャンプサイト、
東・西バンガロー、
古民家 旧山中家、旧目黒家

新設【5箇所】

モバイルハウス、イベント広場、
森林サイト、東・中央炊事棟

解体撤去【3箇所】

旧管理棟、旧シャワー棟、
旧東炊事棟

新たなアウトドア 拠点が誕生

春の大型連休初日となる4月27日、「青少年旅行村いこいの森」が「奥会津ただみの森キャンプ場」としてリニューアルオープンをしました。本リニューアルは、「自然首都・只見アウトドア拠点整備事業」として実施され、平成30年度から本格的な整備作業が行われてきました(表1参照)。近年の施設の老朽化や利用者ニーズの変化などが背景にある中、リニューアルを通じ、新たなアウトドア拠点として町民の皆さんの利用増加と交流人口の拡大を目指します。



▲新設されたイベント広場も利用者が多かった



▲連休中は町外の方を中心に多くの利用者が訪れた

リニューアルオープンまでの経緯

H27

国道289号（八十里越道路）の開通などを見据え、「青少年旅行村いこいの森」の活性化について検討を開始。

H28

三条市との連携会議がスタート。(株)スノーピーク（本社：三条市）との連携が生まれる。

H29

(株)スノーピークへの委託により、アウトドア拠点整備基本計画を策定。

H30

同計画に基づき、今回の整備（リニューアル）を実施。

H31

名称を「奥会津ただみの森キャンプ場」とし、4/27にリニューアルオープン！

(株)スノーピークとの連携により基本計画を策定

前述の「自然首都・只見アウトドア拠点整備事業」は、訪日外国人観光客が急増し出した平成27年度から動き始めました。当時、新潟空港から国内入りする外国人も少しずつ増え、新潟方面から新しい流れができた中、国道289号（八十里越道路）の全線開通を数年後に控える本町は、「自然首都」を宣言する町としてアウトドア拠点整備の検討に入ります。

翌年度には、国道289号で結ばれる予定の三条市との連携が本格化し、三条市に本社を持つアウトドア総合メーカー「(株)スノーピーク」との連携も生まれま

した。その後、町は、本格的に旅行村をアウトドア拠点の一つとして整備すべく「アウトドア拠点整備基本計画」の作成を(株)スノーピークに委託、平成29年度には本リニューアルのもととなる同計画が策定されました。計画が策定された後の平成30年度に本格的な整備作業が行われ、今回のリニューアルオープンを迎える運びとなりました。

自然首都・只見として今後のアウトドア観光の推進

同キャンプ場（集計時・青少年旅行村いこいの森）の入込客数は近年横ばいとなっていますが（グラフ参照）、本リニューアルにより、新たなアウトドア拠点の一つとして入込客数の増加が期待されます。今年の大規模連休が10連休だったということもあり、オープン直後の連休期間中は、例年の2倍の入込客数を記録しました。今後はPR戦略を強化し、より多くの方に新しくなった同キャンプ場を知ってもらい、年間を通して入込客数の増加を図ります。また、当初の背景にあった外国人観光客もターゲットに受入体制を整備していく予定です。

5月8日には、内堀雅雄福島県知事が同キャンプ場を視察に訪れ、県としてもPR活動を強化したい旨をお話しされました。

今後は、アウトドア拠点となる同キャンプ場を中心に、田子倉湖や只見湖など町全域の豊かな自然環境を活用する

ことや、施設の整備で終わらず、体験プログラムの拡充や外国人向けツアーの企画をすることなどにより、アウトドア観光を推進していく必要があります。「只見を世界中の人々が訪れるアウトドアフィールドにすること」を目標に、今後も活動が続けられていきます。

▶ 菅家町長らと古民家 旧目黒家を視察する内堀知事



どこが変わったの？

～新設・改修箇所のご紹介～

① 管理棟内装、Wi-Fi通信

利用客が最初に訪れる管理棟は、明るく開放感のある内装に改修されました。受付の向かい側には、(株)スノーピーク製品の展示スペースも併設されています。また、キャンプ場全域に Wi-Fi 通信環境が整備され、利用しやすい環境となっています。



▲管理棟は明るく開放感あふれる内装に



② モバイルハウス～^{じゅうぼこ}住箱～

(株)スノーピークが提供するトレーラーハウス「モバイルハウス～住箱～」2棟が新設されました。館内にはベッドやテーブルが設置されており、テントを持たずに宿泊することが可能。窓が大きく、より自然を近くに感じられるのも魅力です。

※利用開始は8月頃を予定



▲特徴的な外観の「モバイルハウス～住箱～」

③ イベント広場

テニスコートを撤去して芝生が一面に広がるイベント広場を新設。テニスコートの利用者が減少傾向にあった中、同広場は様々な用途に使用することができます。



▲芝生が広がるイベント広場を新設



▲以前のテニスコート

④ 東バンガロー

全5棟の東バンガローでは、老朽化が目立っていた内装の改修と屋根の葺き替えが行われました。室内には新たにロフトが設置され、1棟3～4人の宿泊が可能です。



▲内装が改修された。リーズナブルな価格で利用できる



5 古民家 旧目黒家

古民家 旧目黒家には新たに浴室が設置され、キッチンなどの改修や畳の張替えも行われるなど、より快適に利用できるようになりました。キャンプ場の古民家設備は珍しく、町としては外国人観光客にも積極的にPRをしていく予定です。（※もう1つの古民家 旧山中家も畳の張替えなどが行われました）



▲室内は広く、団体での利用に使われることが多い



▲改修されたキッチン



▲テーブルで食事也可



▲浴室が新設された



▲建物横にテント・タープの設置や駐車が可能



6 西バンガロー（テラス）

全5棟の西バンガローには、建物の横にテラスが新設され、テントやタープが利用しやすくなりました。車を置いておくこともでき、小人数での気軽なキャンプが楽しめます。（4～5人向け）



▲新しい東炊事棟



▲芝が張られたキャンプサイト

7 炊事棟、キャンプサイト

中央炊事棟と東炊事棟、2つの炊事棟が新設され、利用しやすくなりました（※旧東炊事棟は撤去、キャンプサイト炊事棟も一部改修）。また、芝の張付けやテントサイトの開設などキャンプサイトの整備を行いました。

8 各種看板

名称変更により、キャンプ場入り口に「奥会津ただみの森キャンプ場」の看板を設置。また、施設のマップを掲載した案内看板を場内3箇所に設置しました。



▲新設された入口の看板



▲場内には案内看板も